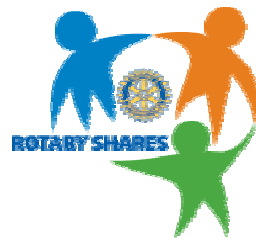


# 第 2233 回例会 逗子ロータリークラブ



# WEEKLY REPORT

2007 - 2008 21 2007年11月29日

本日の進行 (18:00)

会長 松井一郎 会長エレクト 長野芳剛 副会長 矢部光治  
 幹事 長野芳剛 SAA 山本三津子 会計 横瀬元治 広報委員長: 坂井 幸  
 E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp Website: http://www.zushi-rc.com/  
 例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~. 第5木曜日 18:00~  
 例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL: 046-870-6651  
 事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル2F TEL&FAX: 046-873-0226

社会奉仕フォーラム  
 「次年度への提言」  
 次回のお知らせ  
 12月6日(木)(12:30)  
 年次総会  
 上半期三大奉仕委員会報告

## 第 2232 回 例会記録 2007年11月22日

出席報告	会員数 46名(出席免除 8名)	出席数 17名	出席率 44.74%	前回修正出席率 76.32%
ゲスト: 圭室(たまむろ)文雄氏		ビジター:	メイクアップ: 7名	
会 長 談 話 松 井 一 郎 会 長				

皆様今晚は、いよいよ明日 11月23日は、本年度のメイン事業チャリティーダンスパーティーが実施されます。当日は600名近くの参加者が予想されます。担当者の皆様方には、準備に余念の無いことと思いますが、事故やトラブルの無いように万全の準備のもとに当日を迎えたいと思います。そして、11月25日には、大崎公園にてあじさい160本の植栽、ガールスカウト59団の子ども達も参加します。命の大切さ、自然を思いやる気持ちを育む事を目的に、この事業を行います。豚汁、おにぎりも用意しています。新世代の方々と共に楽しい一日を過ごしましょう。会員の皆様方は、この2つの事業に対して色々のご負担をかけますが、何卒ご協力をお願いします。

語呂合わせが良いようです。最近、結婚するのは簡単ですが、夫婦になるのは難しいようです。父親の苦勞を分からせるのは、母親であり、母親の苦勞を分からせるのは父親である。これを愛情の翻訳と呼ぶそうです。お互いに愛情を翻訳し合える夫婦は理想の夫婦と言えるでしょう。会員の皆様も夫婦の絆を大切にしてください。

本日の卓話は、船津会員の紹介で、明治大学名誉教授、圭室文雄先生をお招きし、「江戸時代の苗字、逗子葉山地域の人々」というテーマでお話をして頂きます。また、明治大学のOBの方々も5名参加して下さいまして、誠にありがとうございます。ロータリーに興味をもって頂き、是非入会して頂きたいと思います。本日もよろしくお願い致します。

さて、本日11月22日は、良い夫婦の日ということで、

### 報告

幹事報告: \*週報: 鎌倉北 RC \*ロサンゼルス国際大会登録料  
 12/15まで\$265、3/31まで\$305、当日\$345. \*ロータリーレート  
 12/1より\$112(現行\$116) \*鎌倉 RC 公開例会: 12/4(火)12:30  
 ~ 司葉子さん「ロータリーと私」参加費 3,000円



ガールスカウト  
 神奈川県第五九団  
 三〇周年記念式典  
 に長野幹事・山本  
 由夫委員長が出席

## 大崎公園にあじさいの苗木 160本を植樹 11/25 (ガールスカウト 59 団 10 名、会員 15 名)

晴天のもと 9:00 開始、手際良く作業を進め、水遣り終了後は豚汁とおにぎりの昼食。ガールスカウトの皆様の助っ人に感謝。





我々の祖先たちは江戸時代の戸籍〔宗旨人別改帳〕には名前のみ記されており、苗字は記されていない。

庶民に苗字の使用が許されたのは明治5年(1872年)からのことである。しかし、江戸時代にも、苗字は公的には使用されていないが、私的には使用していた。例えばこれから説明するように、宿帳などには住所と苗字を記している。

ところで、庶民の苗字がいつ頃から使用されていたかといえば、高野山高室院月牌帳でみるかぎりでは1550年頃までさかのぼることが出来る。

返子・葉山地域の、苗字の表(別紙)の史料は返子市池子真言宗東昌寺が所蔵する高野山高室院登山帳である。ここには寛永13年(1636年)~宝永3年(1706年)にわたる高野山高室院に宿泊した人々の苗字が記されている。現在の久木(明治7年=1874年に久野谷村と柏原村が合併)は高室院の檀家圏ではなかったため表示していない。表は高室院登山長から抄出した苗字で、今から300~350年以前の頃のもので、いずれも現在の

返子市・葉山町に住んでいた人々である。

江戸時代には15年に1回の割合で庶民は伊勢参り・高野山参り、さらには大阪・京都・奈良を廻り、ほぼ50日間くらいの旅行をしている。旅行の費用は村ごとに積立て、一か村から小村では1~2名、普通の村では10名前後、大村では20名を越える人々が毎年集団で観光旅行をしていた。この史料はそのときの高野山での宿泊台帳である。高野山高室院に宿泊した人は菩提寺が真言宗とは限らず、それ以外の宗派の人も泊まっている。

ここで掲げた戸数は1825年頃の数字である。(『新編相模国風土記稿』)史料では三崎に次いで小坪、葉山の堀内、下山口、一色と、海辺の村の戸数が多い。村役人の苗字では菊池、富永、葉山、守屋、富塚、荒井が小田原の北條氏との関係で古文書を持っていて500年以上前から住んでいた事がわかる。

1889年の横須賀線の開通、1930年の京浜急行の開通により段階的に流入人口が増え、1960年代から47年間に現在の人口の4分の3が流入し、古くから居るのは3%である。(明治大学名誉教授)

## チャリティーダンスパーティー開催

11/25 於:返子開成体育館

社会奉仕委員会主催のダンスパーティーは参加者500名を超える大イベントとなった。午後の開演に備えて朝から会場に集めたダンスのリボンさん、当クラブ会員によって床に防護シートが敷かれ準備が整えられた。広い会場を埋め尽くしたペアが2時間に及ぶダンスタイムを満喫した。その後世界的チャンピオンのダンサーによるデモンストレーションが行われ華麗な演技に圧倒された。入場料収益は「湘南の風・もやい」と「リプル」に寄付、贈呈式が行われた。終演後2時間を費やして後片付けが完了した。メンバーの皆さん、奥様、清水さん、ご奉仕ありがとうございました。(坂井 記)(参加会員30名)



### ニコニコBOX (35,000円)

松井君...圭室文雄様、本日はスピーチよろしくお願ひします。明治大学OBの皆様ようこそ!

矢部(光)君、長野(芳)君、湊屋君、坂井君、山本(由)君...圭室文雄様、スピーチよろしくお願ひします。

船津君...明治大学圭室名誉教授、スピーチよろしく。明大OBの方々ようこそ。

山科君...圭室文雄氏をお迎えて。

桐ヶ谷君...圭室先生、スピーチありがとうございます。

毛利君、臼井君...苗字の話、楽しみにしています。

篤君...お久しぶりです。

安藤君...明日よりサイパンです。

横山君、高橋君...すっかり寒くなりました。

山本(三)さん...あわただしくなっていました。

山口君...良いお天気が続きます。

ニコニコBOX 本日は合計 ￥ 35,000

累計 ￥ 1,014,684

### 編集だより

圭室氏のお話をうかがい、普段あたりまえと思っていることが意外に重要であることに気づいた。戦後封建的の一言で排斥された伝統的な家族制度が崩壊し、「氏」の意味が全く失われた。かつて「氏」は家名として尊ばれた。家名を汚すことは最大の恥とされ家族の一員として放縦な行いが厳禁された時代があった。苗字の重さを今一度復活させる必要がありそうだ。

クラブ会報委員長 坂井 宰